

開講学科	建築学専攻	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	建築史特論	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		1,2年次	選択	33000201		
担当教員	臼井敬太郎	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	後期	火曜日	4時限	
授業の教育目的・目標	<p>目的：建築史の基礎的な方法論と視座を獲得する。</p> <p>目標：①建築史学の視座を文献と図面解釈から学ぶ。②建築史学の視座を建築見学から獲得する。③地域における現実の建築的課題に対する具体的なアプローチを考察する。</p>					
学科の学修・教育目標との関係	建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持っている。					
キーワード	建築史、近代建築史、保存・活用					
授業の概要	<p>社会における建築の意義あるいは建築家の果たす役割と責任について、現代にいたる史実から学び、これからの建築を構想する基礎を形成することが、建築史の意義である。近年では、歴史的建造物、それらを含めた環境の保存・活用に関する課題も建築史研究を構成する重要な部分となってきた。建築史特論では、このような問題についても積極的に取り上げ、地域における事例に触れながら議論を進める。</p>					
授業の計画	<p>第1回： 歴史から学ぶこと、学びを生かすこと</p> <p>第2回： 歴史から学ぶ—帝国ホテルと自由学園</p> <p>第3回： 歴史から学ぶ—ソーク研究所、課題発表</p> <p>第4回： 歴史から学ぶ—ポンピドーセンター、課題発表</p> <p>第5回： 歴史から学ぶ—近代化遺産の活用事例</p> <p>第6回： フィールドワーク—建築見学</p> <p>第7回： フィールドワーク—建築見学</p> <p>第8回： 学びを生かすこと—風景の読み解き</p> <p>第9回： 学びを生かすこと—建築の読み解き</p> <p>第10回： 学びを生かすこと—保存活用のアプローチ</p> <p>第11回： 課題研究—風景の読み解き</p> <p>第12回： 課題研究—建築の読み解き</p> <p>第13回： 期末課題のプレゼン—建築ガイドブック作成</p> <p>第14回： 期末課題のプレゼン—建築ガイドブック展示</p> <p>第15回： 全体のまとめ</p>					
受講条件・関連科目	受講条件：1年次に受講することが望ましい。					
授業方法	<p>基本的にディスカッション形式で進める。</p> <p>フィールドワークや実地調査など学外での調査と発表も積極的に求める。</p>					
テキスト・参考書	『ぐんま建築ガイド』（上毛新聞社、2015年）その他、進行に合わせて、適宜紹介する。					
成績評価	・レポート（50%）・成果物（50%）					
履修上の注意	学外でのフィールドワーク、プレゼンテーションを予定している。					